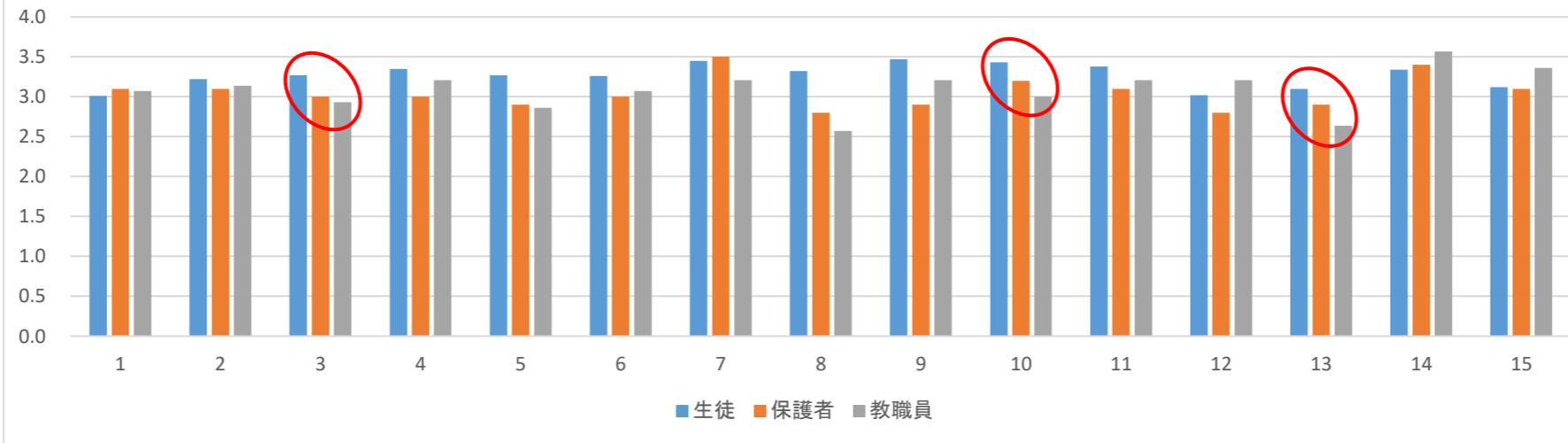


令和6年度 学校評価(11月下旬実施)



質問項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	平均
生徒	3.0	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3	3.5	3.3	3.5	3.4	3.4	3.0	3.1	3.3	3.1	3.27
保護者	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	3.0	3.5	2.8	2.9	3.2	3.1	2.8	2.9	3.4	3.1	3.05
教職員	3.1	3.1	2.9	3.2	2.9	3.1	3.2	2.6	3.2	3.0	3.2	3.2	2.6	3.6	3.4	3.08

【考察】

・生徒・保護者と教職員との意識差（生徒・保護者が優位）として、項目3「将来役に立つ力が身につく教育活動」、項目10「基本的な生活習慣、ルールやマナー」、項目13「施設・設備の安全」が挙げられる。

・生徒と保護者との意識差（生徒が優位）として、項目4「わかる授業」、項目5「家庭学習（授業の予習・復習）」、項目8「働き方改革により豊かな教育活動」、項目9「進路学習」が挙げられる。

【学校評価アンケート質問項目】

No.	質問項目
1	教育目標にある「豊かな心」「創造力」「心と体の健康」を意識した教育活動である。
2	千草台中の教育活動(学校生活)は満足できる。
3	将来社会に出たときに、役立つ力が身につく教育活動である。
4	わかるために、工夫された授業である。
5	家庭学習(授業の予習や復習)についても適切な指導がなされている。
6	生徒自身で課題を解決したり、意見を発表したりする場面が充実している授業である。
7	学校行事(体育祭・校外学習・合唱など)や生徒会活動は、生徒自身が主体的に考え判断し、特色ある活動になっている。
8	【教職員・保護者】働き方改革(主に教職員の長時間労働の是正)は、効果的な教育活動を行う一助となっている。
	【生徒】学校生活全般において、教職員の支援が充実している。
9	進路学習(職業調べや職場体験、進学指導など)は、生徒が進路を主体的に選択・決定できる力を育てる活動になっている。
10	学校や社会で生活するために必要な基本的な生活習慣およびルールやマナーを身につけさせる指導が充実している。
11	自分を大切にし、他者を思いやることを心がけて生活する指導が充実している。
12	生徒や保護者が、悩んだり困ったりしたとき、気軽に相談できる環境である。
13	施設や設備が、安全で使いやすくなるように整備されている。
14	学校・学年だよりやすぐー等の情報発信は、学校への理解向上につながる内容となっている。
15	地域や機関(公民館や自治会・育成委員会など)と連携し、協働体制(よりよい地域と学校づくりを目指す取り組み)が構築されている。